

## 【新潟税務署管内税務団体協議会長賞】

### 「子供の特権」

学校法人 新潟明訓高等学校

新潟明訓高等学校

一年 五十嵐 稀月星

私の家は一人親家庭だ。私が乳幼児の頃より母一人で仕事から子育てをこなしてくれている。病院にかかることも多くある今、こどもは医療費を払わなくても良いことに気づき子どもに使われている税について調べた。

一つ目に、前述したように十八歳未満の子どもは医療費を支払わなくて良いということだ。これは、全ての費用がかからないということでは無く健康保険が適用される場合のみであるが子育て世代の方々にとって負担が軽くなるメリットがある。海外では学費、生活費などの他のことで沢山の出費がある中、病気やけがをして病院にかかる余裕が無く、亡くなっていく子どもが沢山いることを知った。税金によって日々の健康と生活が守られていることに改めて税金の役割と理解し、当たり前前に暮らせていることに感謝しなければならぬと思った。

二つ目に、教育費である。小学校では教科書が無料で配布され安全で快適な教室や設備が整っている。さらに給食では一食分が約二百五十円ほどで済むようになっていて。中学校では、一部の私立を除き、公立校では教材費は無償で提供され、必ず学習ができることが約束されている。もちろん設備も整っている。高校に進学すると、小・中学校のような制度

は無くなってしまいが高等学校就学支援金という制度が新たに生じる。この制度を利用して勉強に励んでいる学生は全国に多くいる。小・中・高問わず学校生活で使用しているほとんどが私たちが納めている税金が使われている。

本文中、子どもに使われている税金について調べたが、医療や学校以外にも子どもに限らず国民が利用している公共サービスにも税は使われている。日常生活の中で税に関わっていたり助けられていることは何らかの形で必ずある。税金あつての日常が私たちの当たり前である。今回、税について調べたことにより税の意義や必要性を改めて感じた。私のように一人親家庭の家のための何らかの支援はきつとこの先もつと需要が高まっていくだろう。実際に私が幼児の頃、入院していた時期、健康保険が適応され経済的負担が減ったと母より聞いた。税金を納めることは自分のためであることと忘れず、自分自身の幼少期や学生の今を当たり前前に過していることを次世代に継ぐため私は納税をすることでの義務を果たそうと思う。